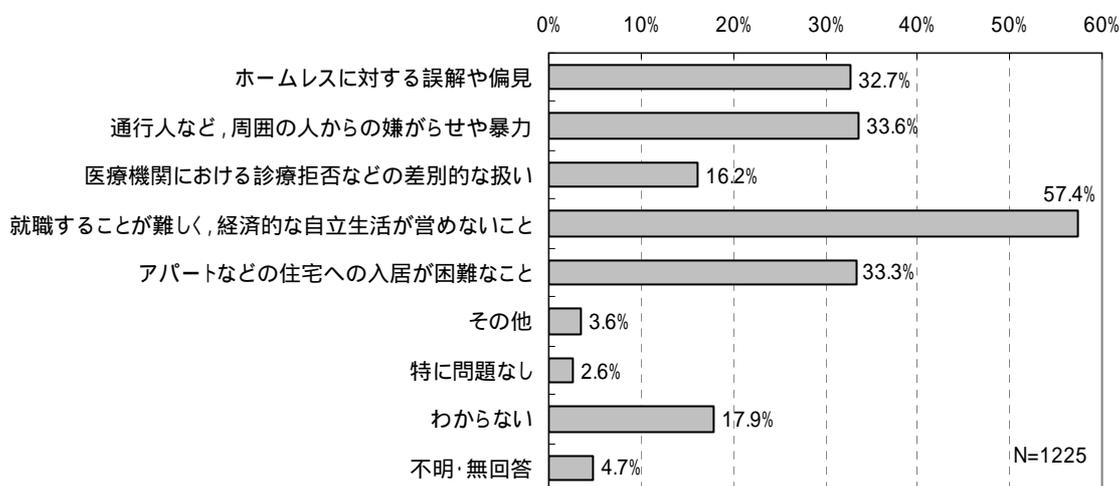


ホームレスに関する人権上の問題と解決に必要な取組

問 21 ホームレスに関する人権上の問題について、現在、特に問題となっているのはどのようなことだと思いますか。(はいくつでも)



「就職することが難しく、経済的な自立生活が営めないこと」(57.4%)が最も高く約6割となっている。次いで、「通行人など、周囲の人からの嫌がらせや暴力」(33.6%)、「アパートなどの住宅への入居が困難なこと」(33.3%)、「ホームレスに対する誤解や偏見」(32.7%)となっている。

性別・年齢別

(%)

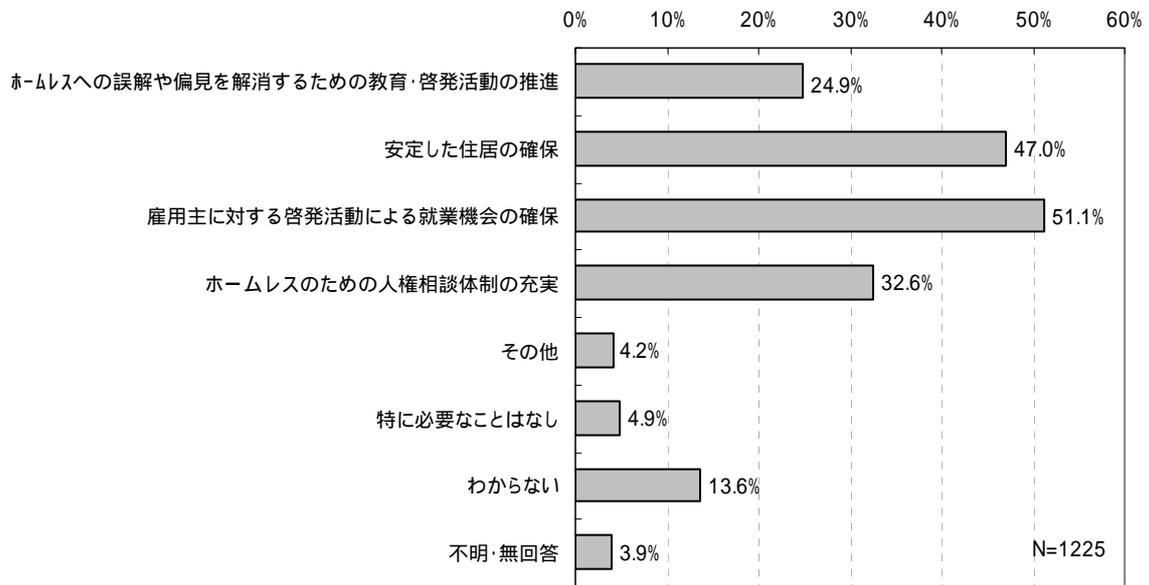
		ホームレスに対する誤解や偏見	通行人など 周囲の人からの嫌がらせや暴力	医療機関における診療拒否などの差別的な扱い	就職することが難しく、経済的な自立生活が営めないこと	アパートなどの住宅への入居が困難なこと	その他	特に問題なし	わからない
全体	N=1225	32.7	33.6	16.2	57.4	33.3	3.6	2.6	17.9
男性	N=532	37.0	33.5	18.4	57.3	32.3	4.9	3.0	15.0
女性	N=677	29.4	34.1	14.6	58.2	34.6	2.5	2.4	20.1
20歳代	N=135	32.6	46.7	13.3	67.4	28.9	2.2	3.7	12.6
30歳代	N=189	27.0	42.3	17.5	60.8	36.0	2.6	2.6	12.7
40歳代	N=178	28.1	35.4	16.3	59.6	33.7	4.5	2.2	14.6
50歳代	N=238	33.2	36.1	22.3	60.5	37.8	4.6	3.8	16.0
60歳代	N=238	34.5	25.2	12.6	58.8	33.2	3.4	2.1	21.0
70歳以上	N=234	38.5	24.4	14.5	44.0	29.9	3.4	1.7	26.5

性別でみると、男女とも「就職することが難しく、経済的な自立生活が営めないこと」が最も高く約6割となっている。また、「ホームレスに対する誤解や偏見」については、男性の方が高くなっている。

年齢別でみると、すべての年齢層で「就職することが難しく、経済的な自立生活が営めないこと」が最も高くなっている。

また、年齢が低いほど「通行人など、周囲の人からの嫌がらせや暴力」が高くなる傾向が見られる。

問 22 ホームレスの人権が守られるために、特に必要なことはどのようなことだと思いますか。
(はいくつでも)



「雇用主に対する啓発活動による就業機会の確保」(51.1%)が最も高く5割を超え、「安定した住居の確保」(47.0%)がほぼ同率で続いている。次いで、「ホームレスのための人権相談体制の充実」(32.6%)となっている。

性別・年齢別

(%)

		ホームレスへの誤解や偏見を解消するための教育・啓発活動の推進	安定した住居の確保	雇用主に対する啓発活動による就業機会の確保	ホームレスのための人権相談体制の充実	その他	特に必要なことはなし	わからない
全体	N=1225	24.9	47.0	51.1	32.6	4.2	4.9	13.6
男性	N=532	28.6	44.4	49.1	32.9	5.3	6.0	12.6
女性	N=677	22.3	49.6	53.2	32.6	3.5	4.0	14.3
20歳代	N=135	21.5	35.6	58.5	28.9	3.7	4.4	8.9
30歳代	N=189	20.1	47.1	59.8	28.6	4.8	7.4	12.2
40歳代	N=178	25.8	44.4	50.6	33.7	6.2	4.5	11.8
50歳代	N=238	26.5	51.7	57.6	33.2	5.9	5.9	8.8
60歳代	N=238	26.9	50.8	46.6	31.1	3.8	4.6	16.4
70歳以上	N=234	26.9	48.3	38.9	38.5	1.7	2.6	20.9

性別でみると、男女とも「雇用主に対する啓発活動による就業機会の確保」が最も高くなっている。

年齢別でみると、20歳代から50歳代では「雇用主に対する啓発活動による就業機会の確保」が、60歳代以上では「安定した住居の確保」が最も高くなっている。